

手形アート講師向け

スキルアップ通信レッスン

フローティングフラワーフレーム
手形アート

petapeta-art®インストラクター けんもちえみこ

2020年11月1日 vol.1.1

はじめに

こちらは、手形アート講師の方向けの
フローティングフラワーフレーム手形アート通信レッスンのレシピです
※テキストの複写・転載・口外や
手形アート講師向けに類似講座レッスンの開講は禁止です

受講の流れ

本レシピと制作キットでお作りいただく通信レッスンです
制作における質問はSNSで行います
通信レッスンとなっておりますので
取組のタイミングはお任せいたします
作品の提出はございません

フローティングフラワーフレーム手形アートとは

手形や足形アートがフレームの中で
浮いてみえる手法のデザインのことで

本講座でできること

ワークショップやイベント、オーダー等での制作・販売ができます
デザインや価格の設定は自由です

準備するもの

透明フィルム、フレーム、花（本講座では押し花を使用します）
ハレパネ（フレームの種類によって使用します）
スチレンボード、コルクボード、マスキングテープでも代用可）
ピンセット、スタンプ、マスキングテープ、油性ペン
透明接着剤（のりでも代用可）、ウェットティッシュ等
いつもの手形アート用品

内容物

①A4フレーム 1個

②A5フレーム 1個

③A4PPシート 2枚 (A4、A5用)

※A5で使用する際は、カッターでカットしてください

④透明フィルムカバー A4 1枚

⑤透明ラベル A4 1枚

⑥セルフラミネート 1枚

⑦押し花・押し植物 1式

内容物で

A4、A5、セルフラミネートキーホルダー
が作れます

スタンプについて

本講座では、
シャチハタ社製PALM COLORS
ツキネコ社製カラーパレット
を使用しております

水性顔料系インキのため
フィルムの重ね方によってははにじみができることがあります

気になる方は水分量の少ないインキや
速乾性の高いインキを使用してください

※この場合、おこさまに安全なものかご自身で選定しご判断ください

必ずご自身でお試しく下さい
また、作成後は、数日経過観察を行ってください

いろいろな手法をお試しいただき
ご自身のワークショップやお教室で
どんなスタンプを取り入れるか
ご自由にお決めください

※本講座では、
フローティングフラワーフレームに仕上げる手法を
お伝えします
手形アート制作の部分については
お好きなやり方でお楽しみください

フローティングフラワーフレーム手形アートの 作成パターンの種類

A.

透明のフィルムを台紙にして手形や足形を
直接スタンプし
お花や植物を配置して制作する

B.

あらかじめデジタル化した手形や足形を
透明のフィルムに出力した台紙に
お花や植物を配置して制作する

2種類を手法を学びます

A.透明のフィルムを台紙にして手形や足形を
直接スタンプしお花や植物を配置して制作する

台紙として使用できる透明フィルムの種類

- ①フレームを2つ購入し、片方のフィルムを使用する
- ②透明のフィルムやアクリル板・プラスチック版を使用する
(画像あり)
- ③ラミネートフィルムを使用する

①フレームを2つ購入し、片方のフィルムを使用する

◎メリット：安価、手軽

×デメリット：お花が変色しやすい

（空気が入らないようにしっかり固定で回避しましょう）

①まったく同じフレームを2つ用意します

（フレームであれば、ガラスでもフィルムタイプでも大丈夫です）

②片方のフレームのフィルム（もしくはガラス）を台紙として置きます

③全体デザインを決めます

（背景のみお花や植物を配置するのか、モチーフの一部にもお花や植物を配置するのか先に決めておきます）

④デザインが決まったら、フィルム（もしくはガラス）の表面をゴミなどが入らないように拭きます

（フィルムでスタンプとお花を挟むため）

⑤台紙になる透明フィルムに手形や足形のスタンプを押します

⑥いつもの手形アート同様、モチーフや文字入れ等を仕上げていきます

※注意※水性スタンプインキ上に油性ペンで書き込む際（目や鼻など）にじみがでることがあります。そのためフレームを重ねた後に書き込むほうがにじみが気になりません

なるべくペンを使わずスキングテープで目や鼻などを作るのも良い

⑦お花や植物を配置し、透明接着剤（のりでも代用可）を少量付け固定します

⑧全体のデザインが仕上がったら

もう片方のフレームのフィルム（もしくはガラス）をゆっくり重ねます

⑨お花や植物を重ねてデザインした場合など、厚みがあるときは、お花や植物が動かないように台紙側のフィルム（もしくはガラス）と重ねる側フィルム（もしくはガラス）の端を細く切ったテープや両面テープで固定します

⑩固定されたフィルムをフレームにはめ込みます

⑪フレームの留め具でフィルムを固定します

高さが足りない場合は、ハレパネ（スチレンボード、コルクボードでも代用可）を使用し高さを調整します

⑫ハレパネとフレームの裏を数か所テープで留め完成です

②透明のフィルムやアクリル板・プラスチック版を使用する

◎メリット：透明カバーフィルムを使用することで、お花が変色しにくい
×デメリット：透明フィルムやアクリル板・プラスチック版など
透明カバー代がかかる

- ①透明フィルムやアクリル板・プラスチック版を用意し、台紙として置きます
- ②全体デザインを決めます
(背景のみお花や植物を配置するのか、モチーフの一部にもお花や植物を配置するのか先に決めておきます)
- ③デザインが決まったら、フィルムの表面をゴミなどが入らないように拭きます
(フィルムでスタンプとお花を挟むため)
- ⑤フィルムに手形や足形のスタンプを押します
- ⑥いつもの手形アート同様、モチーフや文字入れ等を仕上げていきます

※注意※水性スタンプインキ上に油性ペンで書き込む際（目や鼻など）にじみができることがあります。そのためフレームを重ねた後に書き込むほうがにじみが気になりません
なるべくペンを使わずスキングテープで目や鼻などを作るのも良い

- ⑦お花や植物を配置し、透明接着剤（のりでも代用可）を少量付け固定します
- ⑧全体のデザインが仕上がったら透明カバーを丁寧にゆっくり重ねます
(このとき、透明カバー以外に透明のフィルムやアクリル板・プラスチック版など同じ台紙で重ねるP.6のやり方でもできます)
- ⑩重ねたフィルムをフレームにはめ込みます
- ⑪フレームの留め具でフィルムを固定します
高さが足りない場合は、ハレパネ（スチレンボード、コルクボードでも代用可）使用し高さを調整します
- ⑫ハレパネとフレームの裏を数か所テープで留め完成です

画像で簡単に説明

①台紙を置く



②手形足形をスタンプする



③モチーフに仕上げる



④花や植物の配置する



⑤のりで固定し文字入れをする



⑥カバーフィルムを重ねる



⑦台紙側とカバー側のフィルムを固定する



※テープは説明のため色付きを使用しています
透明に近い色の方がおすすめです

⑧フレームの留め具を固定する



⑨留め具がない場合や固定が緩いときはハレパネで補強もしくはマスキングテープを細く丸め補強する



※テープは説明のため色付きを使用しています
透明に近い色の方がおすすめです

⑩完成



③ラミネートフィルムを使用する

◎メリット：密封できるので、持ちが良い

×デメリット：ラミネーターやラミネートフィルム代がかかる

- ①ラミネートフィルムを用意し、台紙として置きます
- ②全体デザインを決めます
(背景のみお花や植物を配置するのか、モチーフの一部にもお花や植物を配置するのか先に決めておきます)
- ③デザインが決まったら、ラミネートフィルムに手形や足形のスタンプを押します
- ④いつもの手形アート同様、モチーフや文字入れ等を仕上げていきます
※注意※水性スタンプインキ上に油性ペンで書き込む際（目や鼻など）にじみがでることがあります。そのためフレームを重ねた後に書き込むほうがにじみが気になりません
なるべくペンを使わずスキングテープで目や鼻などを作るのも良い
- ⑤お花や植物を配置し、透明接着剤（のりでも代用可）を少量付け固定します
- ⑥全体のデザインが仕上がったらラミネーターで加工します
- ⑦固定されたフィルムをフレームにはめ込みます
- ⑧フレームの留め具でフィルムを固定します
高さが足りない場合は、ハレパネ（スチレンボード、コルクボードでも代用可）を使用し高さを調整します
- ⑨ハレパネとフレームの裏を数か所テープで留め完成です

セルフラミネートでキーホルダーを作ろう！

- ①キットの中にあるセルフラミネートを用意し、台紙として置きます
- ②全体デザインを決めます。セルフラミネートは、ラミネート工程がコツが要るため、まずはお花や植物は少なめがおすすです
- ③～⑤までは上記の通り
- ⑥セルフラミネートしたら、好きな形にはさみでカットし、パンチで穴をあけたら完成です



①透明のフィルム（ラベルあり）で手形や足形の
を印刷してから制作する

- ◎メリット：モチーフのにじみが気にならない
あとでお花や植物を入れ替えられる
- ×デメリット：手形や足形のデジタル化が必要
作業工程が多い

- ①あらかじめデジタル化した手形や足形を用意します
- ②全体デザインを決めます
（背景のみお花や植物を配置するのか、モチーフの一部にも
お花や植物を配置するのか先に決めておきます）
- ③デザインが決まったら、デジタル化した手形や足形でモチーフに
仕上げ透明のフィルム（ラベル）で印刷します
- ④印刷したフィルムのモチーフをカットし
透明フィルムやアクリル板・プラスチック版に貼ります
- ⑤お花や植物を配置し、透明接着剤（のりでも代用可）を
少量付け固定します
- ⑤全体のデザインが仕上がったら
透明のフィルムや透明カバーなどをゆっくり重ねます
- ⑨お花や植物を重ねてデザインした場合など、厚みがあるときは、
お花や植物が動かないように台紙側のフィルム（もしくはガラス）と
重ねる側フィルム（もしくはガラス）の端を細く切ったテープや
両面テープで固定します
- ⑩固定されたフィルムをフレームにはめ込みます
- ⑪フレームの留め具でフィルムを固定します
高さが足りない場合は、ハレパネを使用し高さを調整します
- ⑫ハレパネとフレームの裏を数か所テープで留め完成です

デジタル化を透明ラベルで印刷する場合は、貼る際に注意が必要
空気が入りやすいので要注意！！
印刷する際のカラーも手形や足形の色は濃く設定しましょう
意外と薄い色で印刷される可能性があります

②透明のフィルム（ラベルなし）で印刷してから
制作する

- ◎メリット：モチーフのにじみが気にならない
あとでお花や植物を入れ替えられる
×デメリット：手形や足形のデジタル化が必要

- ①あらかじめデジタル化した手形や足形を用意します
- ②全体デザインを決めます
（背景のみお花や植物を配置するのか、モチーフの一部にもお花や植物を配置するのか先に決めておきます）
- ③デザインが決まったら、デジタル化した手形や足形でモチーフに仕上げ透明のフィルムで印刷します
- ④印刷したフィルムにお花や植物を配置し、
透明接着剤（のりでも代用可）を
少量付け固定します
- ⑤全体のデザインが仕上がったら
透明のフィルムや透明カバーなどをゆっくり重ねます
- ⑨お花や植物を重ねてデザインした場合など、厚みがあるときは、
お花や植物が動かないように台紙側のフィルム（もしくはガラス）と
重ねる側フィルム（もしくはガラス）の端を細く切ったテープや
両面テープで固定します
- ⑩固定されたフィルムをフレームにはめ込みます
- ⑪フレームの留め具でフィルムを固定します
高さが足りない場合は、ハレパネを使用し高さを調整します
- ⑫ハレパネとフレームの裏を数か所テープで留め完成です

レッスンで使用したキットについて

本レッスンで使用したキットの購入先はページから
ご確認いただけます

※11月8日にメールでご案内いたします

ページは保護されていますので
パスワードを入力してください

パスワードは
【FFF20201101】
です

なお、インターネット以外に
ホームセンターや100円均一ショップ等で
入手できるものもございますので、お好きな方法で
揃えていただければと思います

改めまして
ご受講いただきありがとうございます

さいごに

SNS投稿について

ハッシュタグ

#フローティングフラワーフレーム手形アート

#FFF手形アート

で盛り上げていきましょう！

Instagramの場合は、

@emiemi88888へのメンションやタグ付けをお願いいたします。

確認後は、リポストでご案内させていただきます。

お問い合わせ先

チャットワークという無料ツールで個別対応とグループにご招待いたします。

みなさんでデザインのアイデアを出し合ったり

より素敵なレッスンになるよう改善していきたいと思っておりますので

ご登録のほどよろしく申し上げます。